

郡築小学校令和三年度学校評価
保護者、教職員、児童のデータ比較表

朱文字は4・3の割合95%以上の項目
網掛けは4・3の割合80%未満の項目

	評価項目	保護者(P)		教職員(T)		児童(C)		総合 評価	運営協議会
		4・3の割合		4・3の割合		4・3の割合			4・3の割合
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		後期
1	教育方針や教育目標などを、児童や保護者、地域にわかりやすく伝えている。	96%	96%	83%	100%	81%	90%	95%	100%
2	児童は、集団の秩序を保ちながら充実した楽しい学校生活を送っている。	94%	98%	92%	92%	87%	90%	93%	100%
3	授業では、適切な課題を設定して、児童の活動時間を保障している。	71%	73%	100%	100%	83%	85%	86%	100%
4	授業では、児童が課題解決のためにタブレットPCを使う場面を設けている。	88%	85%	90%	92%	81%	87%	88%	100%
5	児童は、家庭、学校、地域で役割を果たしながら、自分らしく生きる力を身に付けている。	89%	89%	90%	73%	82%	84%	82%	100%
6	児童は、自分や友だちを大切に、仲良くしたり協力したりしている。	99%	97%	100%	100%	90%	95%	97%	100%
7	児童は「いつでも、どこでも、だれにでも」あいさつができています。	83%	77%	33%	69%	84%	94%	80%	100%
8	学校は、一人一人の児童を大切にした指導や対応ができています。	90%	91%	92%	100%	94%	92%	94%	100%
9	児童は、いじめや差別をせず、だれにでも公平に接していますか。	98%	97%	83%	100%	82%	88%	95%	100%
10	学校の教育活動(行事、参観授業等)は、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	96%	97%	92%	92%	90%	94%	94%	100%
11	学校は、児童のよさを見つけ、児童を理解しようと努めている。	87%	86%	100%	100%	93%	90%	92%	100%
12	児童は、「郡築小がんばる5」ができています。	87%	87%	83%	100%	82%	89%	92%	100%
13	いじめや問題があったとき、学校全体ですぐに解決に向けて動いている。	91%	90%	100%	100%	61%	70%	87%	100%
14	交通ルールやモラル、災害対策について指導している。	89%	93%	100%	100%			96%	100%
15	児童は、「早寝、早起き、朝ご飯」等基本的な生活習慣が身についている。	87%	84%	100%	100%	80%	81%	88%	100%
16	学校の校舎内外の教育環境は、いつも整美されている。	99%	99%	92%	93%	85%	88%	93%	100%
17	学校の遊具・施設は、定期的に点検され、安全に使える。	98%	97%	92%	100%	91%	94%	97%	100%
18	通信文(学校・学級だより)やWebページ等により、学校の情報を十分発信している。	94%	92%	100%	100%			96%	100%
19	学校は、授業や他の教育活動で、地域の人材や保護者等を活かしている。	94%	95%	67%	85%	84%	83%	88%	100%
20	児童は、夢を持って自分を信じ、ねばり強く課題に取り組んでいる。	69%	74%	83%	93%	82%	85%	84%	100%
21	学校は、チャレンジ精神にあふれ、前向きに教育活動に取り組んでいる。	91%	93%	100%	100%			96%	100%
22	学校は、一人一人の教育的ニーズに対応し、特別支援教育を推進している。	96%	96%	100%	100%	90%	92%	96%	100%
23	学校は、幼・保、小、中学校と連携し児童の教育に生かしている。	88%	94%	67%	71%			83%	100%
24	学校は、児童を通わせたい、児童が通いたい学校作りができています。	99%	96%	92%	100%	94%	94%	97%	100%
25	学校改革(校務改革、授業改革)の意識をもって業務を行っている。			58%	64%			64%	

令和3年度学校評価 分析(取組成果◎と次年度への課題△)

- ◎ 学校教育方針及び目標等は、教師・児童・保護者・地域に分かりやすく伝えることができている。(1、21)
- ◎ 学校の教育活動を保護者・地域に伝えるための工夫をしており、「通いたい、通わせたい学校づくり」ができている。(10、18、24)
- ◎ 学校の教育環境を整備して、児童が自ら学ぶ意欲を持ち課題解決に向かう授業づくりを進めている。(3、4、16、17、19)
- ◎ いじめや差別を見逃さない仲間作りを中心に据えた学級経営によって、集団の秩序を保って、楽しい学校生活を送ることができている。(2、6、8、9)
- ◎ 児童・保護者の教育的ニーズに対応して、特別支援教育を進めている。(11、22)
- ◎ 月毎の生活目標やがんばる5の取組を通して、基本的な生活習慣を身に付けさせている。(12、14、15)

- △ 授業と家庭学習の接続に取り組んでいるが日々の家庭学習の習慣化に課題がある。(3)
- △ あいさつ運動により児童の意識は高まっているが、学校外でのコミュニケーション力を伸ばしていきたい。(5、7)
- △ いじめやトラブルなどへの対応について、児童の評価と開きが大きい。時間確保も含めて相談できる関係を深めたい。(13)
- △ 夢(目標)を持って、ねばり強く努力する姿を実感できていない。(20)
- △ 幼保園、中学校との協働的な教育活動により連続した育ちを共有する取組を充実させる。(23)
- △ CS(学校運営協議会)の取組を活発にして、学校と地域が共に「学びを活かす」仕組みを構築する。(5、19)